

日時：2013 年 7 月 7 日(日) 12:10-13:00

場所：麻布大学 8 号館 5 F 8501 講義室

議長：石田卓夫会長

参加者：石田卓夫、藤田道郎、杉山大樹、中尾淳、浅葉慎介、溝呂木啓之、武信行紀、理事 14 名、評議員 44 名

下記の議事について報告された。(敬称略)

【報告事項】

1. 事業報告(石田会長)

1) 会員数(2013 年 3 月 31 日現在)

正会員：2043 名 準会員：17 名 名誉会員：1 名 会員合計：2061 名 賛助会員：13 社

2) 第 7・8 回学会報告

第 7 回学会

正会員：497 名、準会員：3 名、非会員：29 名、学生：54 名、

講師他：53 名(含むアルバイト 17 名)、関係者：23 名、参加者合計：659 名

第 8 回学会

正会員：419 名、準会員：6 名、非会員：34 名、学生：11 名、

講師他：58 名(含むアルバイト 11 名)、関係者：29 名、参加者合計：557 名

2. 各委員会・部会報告

<学会運営に関する委員会>

1) 学会企画委員会：古川委員長

・アンケート実施に関して 学会場で参加者に用紙を配布し、学会企画に反映したく集計を行う。

2) 学会雑誌編集委員会：藤田委員長

・雑誌 Vol. 4 No. 1 を発刊済み。No. 2 は短報の投稿状況により可能である。

・編集委員組織変更あり。委員は、皆上、浅野、賀川、鈴木、高木、中山、日高、細谷、圓尾となる。

3) 認定医認定委員会：藤田委員長

・7/7(日) 認定医Ⅱ種試験 187 名、1 種一次試験実施予定 26 名

・10/14(月・祝) 認定医 1 種 2 次試験 麻布大学にて 10 名を予定している。

・2 種試験対応の腫瘍学テキストが完成したが、正誤表が多かったこと、重複部分が多く見られたため、改訂を見据えて次期へ報告をする。

4) 専門医制度実行委員会：南委員長

・特に無し。

5) JONCOL 編集委員会

- ・ 15号（信田前会長監修）発行予定に関して（信田前会長）
進捗は初校が完了し、印刷に入っている。内容は2013年1月学会企画を反映したものである。
- ・ JONCOL 電子版（会員特典の変更：資料1（あ））（信田前会長）
2013年9月発刊分より電子版にて会員配布する。ただし、2013年9月および2014年9月分まではDVD等を郵送で配布も行う。ダウンロードする場合は、学会HPからメールアドレスの登録をし、1人5回までダウンロードが可能となる。
なお、印刷済みの雑誌を会員が購入する場合は本体価格20%であったが、2013年9月からは本体価格の30%割引で販売する。
- ・ 16号の企画編集に関して（井上委員長）
第9回学会企画をメインに企画編集段階に入った。

6) 学会実行委員会：福山部会長

- ・ 第9回学会 参加者報告
事前登録532名、当日登録144名、企業・アルバイト等含め 概算合計750名

<学術部会>

- 1) 外科部会（高木副部会長）
 - ・ 第10回企画を検討中である。
- 2) 放射線療法部会（圓尾部会長）
 - ・ 学会企画について
 - ： 外科併用の放射線治療について各施設の症例をもとに検討をする。
 - ： 各施設紹介（WEB、学会雑誌もしくはJoncol等）に掲載する。
 - ： 部会内勉強会を行いたい意向があり、部会会議時間およびその時間確保を希望する
- 3) 内科部会（細谷部会長）
 - ・ 第11回学会で、公開CPCのような感じで血液系腫瘍を中心にした企画を検討中である。
- 4) 臨床研究部会（皆上部会長）
 - ・ 今後の活動方針について検討。
 - ・ 臨床研究としては、従来のアドリアマイシンの臨床治験は現状での実施は時期尚早である。
 - ・ 過去に統計について講師を招聘したことがあるが、臨床統計の企画を立ち上げる。
 - ・ 国内の優れた臨床統計を学会内で報告することを考えており、
 以上について、企画委員会への提案をしていけるようにまとめていく。
- 5) 国際情報部会
 - ・ 部会員不在、報告事項なし。
- 6) 病理部会（賀川部会長）
 - ・ 診断名の統一性を出せるように病理部会で検討していきたい。
 - ・ 臨床獣医師が気軽に別のラボへのセカンドオピニオンを求められるような環境づくりをしたい。

3. その他

1) 渉外・広報担当（武信理事）

- ・2013年9月の日本獣医臨床フォーラムの後援依頼があり、承諾した。

2) その他

- ・事務局の業務委託先変更（石田会長）：資料2。
（有）コンパニオン・アニマル・カンパニーが株式会社オフィスフクハラに変更とし、事務局業務を引き継ぐ。事務局請負金額も変更なし。住所変更。
- ・今期理事当選の加藤吉男氏が2013年3月末にて退会したため、理事1名が減った。

【審議事項】

1) 2012年度日本獣医がん学会収支決算報告（信田前会長）

- ・収支決算報告：資料3
- ・参考資料「前期執行部実績報告」
：収入2009年～2010年に増に考えられる理由は何か？（廉澤評議員）→参加者数・会員数の増加、認定医委員会はほぼ独立採算であること、その他により収入が上がった。
（信田前会長）

2) 2012年度日本獣医がん学会：会計監査報告（堀前会計監査）

- 1) 2) について一括承認された。

3) 今後4年間の学会メインテーマ（石田会長）：資料5

- ・国内の臨床獣医師が興味を持つであろう、そして、疾病統計も加えて検討した。
：質問：第11回企画名は、現在では病理学的に変更されているので、名称を変更したらどうか？（入江評議員）→開催までに検討する（石田会長）
→承認された。

4) 第10回日本獣医がん学会(大阪)開催に関して（石田会長：資料6

- ・2014年1月25日（土）・26日（日）ホテルニューオータニ大阪
- ・収支予想 会場代 560万円＋人件費＋制作費等 600万円の赤字予測
従来、麻布大学および麻布大学研修医・学生の犠牲の上に成り立っていた。本執行部は利便性を高め、企業展示を増やし、参加者増を見込んでいる。
- ・質問：一般口演座長に交通費等として10000円を支払う。（古川企画委員）
→承認された。

5) 第11回日本獣医がん学会(東京)開催（石田会長）：資料7

- ・東京コンベンションホールでの開催をする。
- ・参加費は据え置き。
- ・質問：収益を増やし、会員の負担となる参加費値上げをできるだけないようお願いしたい。（信田理事）
→承認された。

6) 2013～2017年度のタイムスケジュール（石田会長）：資料8

- ・スケジュールの説明。学会場は都度承認を得るが、大阪・東京共に新会場での継続開催を見込んでいる。
- ・現執行部発足よりも半年早い予定を組んでいる。
→承認された。

6) JFVSS（日本獣医学専門医奨学基金）への出資（石田会長）

- ・一般社団法人として JFVSS が設立し、奨学金を立ち上げ、企業・学会等から寄付金を募る。留学生はコロラド州立大学での修士 2 年を受け入れられ、毎年 1 名は特別枠のレジデントとして採用が確約され、年間の学費・生活費をサポートする。300 万円/年/人の費用が掛かり、1 名が終了するまでの 5 年間で 1500 万円を要する。2013 年 9 月スタートする。
- ・本学会では 30 万円/年のサポートをする。
→ 承認された。

7) JFVSS 出資を受けての補正予算案（石田会長）：資料 9

- 承認された。

8) 世界獣医がん学会に関して（石田会長）

- ・世界獣医がん学会を日本での開催に際し、本学会が受け入れてもらえないか。
- ・4 年に 1 度、2 月頃開催予定。2020 年 2 月第 4 回大会候補地として日本開催を計画。
- ・本年 8 月に意思表示、同年 10 月（VCS）にて誘致プレゼンを行う必要がある。12 月には開催地が決定される。
- ・日本の獣医学を世界的認知に広めること、また、日本はアジアの臨床獣医学をリードしなければならない立場であり、国際交流を図れる良いチャンスであることがメリットである。どこが実務を担当するのか、大会開催に関してはプロトコルが提供されること、開催時期が 2 月であると日本獣医内科学アカデミーとの開催時期が近いいため協力体制をとるかどうかという検討が必要となる。
- ・質問：会計収支はどのようになっているのか？（信田理事） → もらった資料に情報がないため、辻本理事ご本人に尋ねないと不明である。（石田会長）
- ・プロジェクトチームをつくり、収支の問題が解消すれば参加表明をする。細部の会計収支に関しては情報を得た段階で持ち回り理事会を行い、理事に一任とする。
→ 条件付きで承認された。

9) その他

- ・内科学アカデミーの説明会（6 月）に参加し、7 月 5 日までに参加の有無、講演内容の確定が必要で、本理事会に間に合わないため、会長・副会長へ審議を諮り、先方への決定の連絡を行った。企画内容はリンパ腫とし、細谷先生・小林哲也先生・石田先生らに内諾・依頼済み。講演料はあるが、交通費は一定の基準を満たさないと支払われないため、企画に関しては事後報告となったが、審議のほどお願いします（長田評議員・企画委員会）。 → 交通費は本学会が依頼している以上、支払うのが当然（石田会長）。 → 交通費は本会が負担しないという審議をし、過去の理事会で承認を得ている（杉山副会長）。過去に承認されたとしても、再審議して必要ならば支払うというのが判断もできる（信田理事）。なお、事後報告は持ち回り理事会を採用し、大事な要件に関しては、会員の総意で選ばれた理事に審議を諮るように、また、各委員会・部会で決まったことが即実行でないことを認識してください（信田理事） → 交通費は結構です（細谷理事） → 細谷先生は他の役割で交通費が出ることを期待します。今後は改めて考えることになるかも知れないが、今回は本会からの交通費は支払わないということにする（石田会長）。

【その他】

審議事項なし。
以上。

JVCSについて	学会開催	獣医腫瘍科認定医	刊行物	事務手続	事務局
----------	------	----------	-----	------	-----

トップ > 事務手続 > 入会案内

入会案内



事務手続

▶ 入会案内

▶ その他のお手続き

● 入会申込フォーム

● 登録情報変更フォーム

資格

- (1)正会員
本会の主旨に賛同し年会費を納入した個人。
- (2)準会員
本会の主旨に賛同する大学院生、大学の研究生、研修獣医師および学生等で年会費を納入した個人。
- (3)賛助会員
本会の目的及び事業に賛同し、賛助会費を納入した団体またはその代表者。

年会費および特典

会計年度:4月1日～3月31日
初年度のみ、年会費を所定の口座に一括納入してください。
次年度から自動更新となり、口座振替をご利用下さい。

会員区別	年会費	特典
正会員	10,000円	学会開催情報・学会抄録の無料配布・参加費割引(約20%)・日本獣医がん学会獣医腫瘍科 認定医受験資格 Joncol(年1冊)無料配布・無料配布以外の購入は本体価格の20%割引
準会員:大学院生、大学の研究生、研修獣医師および学生等 (学生証または在学証明書を提出する必要があります)	5,000円	学会開催情報・学会抄録の無料配布・参加費割引(約20%)・日本獣医がん学会獣医腫瘍科 認定医受験資格 Joncol(年1冊)無料配布・無料配布以外の購入は本体価格の20%割引
賛助会員	50,000円	学会開催情報・学会抄録の無料配布・展示・広告割引(約20%)・参加費無料・Joncol(年1冊)無料配布

*入会金はありません。
*講演会参加費・次年度以降の年会費は、自動口座振替にてお納めいただきます。

正会員・準会員

学会開催情報・抄録の無料配布・参加費割引(約20%)・日本獣医がん学会獣医腫瘍科認定医受験資格

Joncol 誌 会員特典あり

No. 14 までは無料配布以外の購入は本体価格の20%割引。

No. 15 より、以下の価格(すべて税込)になります。

夏号: 電子版・無料ダウンロード、雑誌購入は定価 6,825 円→会員価格 4,725 円の割引適用*あり。

冬号: 電子版・会員特別価格 2,100 円、雑誌購入は定価 6,825 円→会員価格 4,725 円の割引適用*あり。

*会員割引適用の購入方法は、雑誌と電子版の購入方法が異なります。

【会員割引適用 Joncol 雑誌の購入はコチラ】

【会員割引適用 Joncol 電子版の購入はコチラ】

賛助会員

学会開催情報・抄録の無料配布・展示・広告割引(約20%)・参加費無料

Joncol 誌 会員特典: No. 15～夏号は電子版・無料ダウンロード

収入の部	金額 (円)	明細金額 (円)	明細	備考
当期年会費	¥20,690,000			
			正会員年会費	2000人×10,000円
			準会員年会費	18人×5000円
			賛助会員年会費	12社×50,000円
認定委員会	¥3,131,500			
		¥2,025,000	II種受験料・登録料	受験125名 出願127名(139名) 登録12名
		¥270,000	I種一次 受験料	受験30名 出願27名(30名)
		¥420,000	I種二次受験料・登録料	受験12名 出願9名(12名) 登録2名
		¥145,000	来期受験料	
		¥271,500	手帳(1500円/部)	110部+71部 合計181部
学会	¥13,256,000			
		¥11,403,000	第7・8回学会参加費	636人+528人
		¥1,730,000	展示・広告費	15社+15社 のべ数
		¥102,000	要旨販売	25冊+4冊 通常時5冊
		¥21,000	懇親会	4名+3名
その他	¥385,441			
		¥230,000	当期以外年会費	
		¥9,191	預金利息	
		¥146,250	会員証・挟込等(不明含)	
小計	¥37,462,941			
繰越金	¥45,202,610		(前年度)	
総計	¥82,665,551			(a)

支出の部	金額 (円)	明細金額 (円)	明細	備考
事務人件費	¥2,678,130			
		¥2,678,130	委託費(1300円/人)	1962名
荷造運賃発送費	¥633,300		宅配・切手・発送代	開催案内2回/年、非参加者要旨発送等
会議交際費	¥25,693		会議費	
旅費交通費	¥7,410			
通信費	¥187,552		電話・サーバー代等	
消耗品費	¥106,569		事務用品・雑品費・会員証資材	
手数料	¥458,004		銀行および口座振替手数料	振込手数料&ワイドネット
学会開催	¥10,980,648			
		¥5,444,062	第7回(7月)(場所:麻布大学)	
		¥5,536,586	第8回(1月)(場所:麻布大学)	
認定委員会	¥2,540,448		認定医関連一式	
Joncol	¥4,955,000		JONCOL1号分(No.13)	1部2500円
学会雑誌	¥1,400,024			編集、編集経費 査読料等
運営費	¥819,000		Web名簿使用料、選挙関係等	
その他	¥326,752		昨年度Joncol追加分、選挙送付制作	
支出合計	¥25,118,530			(b)
次年度繰越金	¥57,547,021			(a)-(b)=(c)
総計	¥82,665,551			(a)

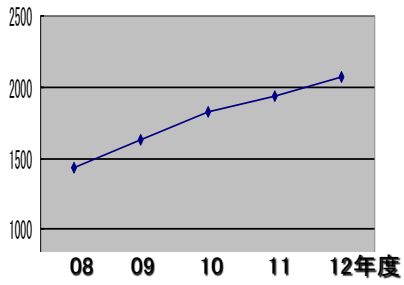
年度末残高内訳

	残高	預け先	
現金	¥471		
事務局預金	¥47,490,722	三井住友銀行	
認定医預金	¥9,878,405	三井住友銀行	
学会雑誌預金	¥177,423	三井住友銀行	
	¥57,547,021		(c)

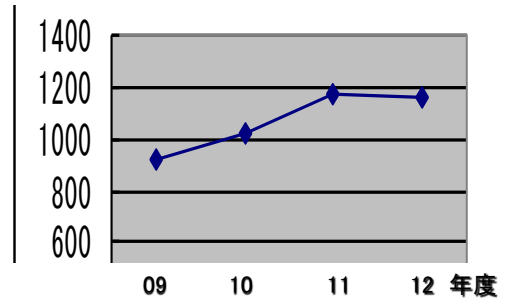
注: 学会関係項目(認定医手帳を含)の数字は前が第7回後ろが第8回



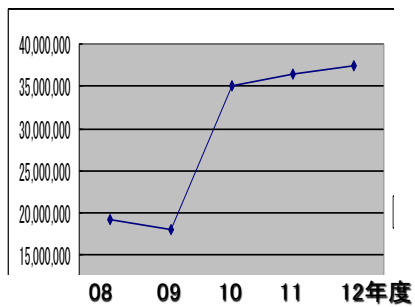
会員数年度別推移



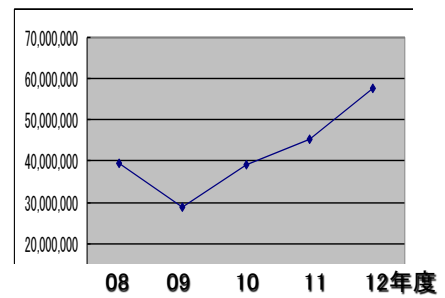
学会参加者数



収入額の年度別推移



残高年度別推移



4年間の学会メインテーマに関して

これまでの学会企画、国内での疾病発生率、新しい知見、これらから判断し、現執行部任期4年間の学会メインテーマ案を作成致しました。

- 第9回 乳腺腫瘍
- 第10回 肝臓腫瘍
- 第11回 高分化型リンパ腫と CLL
- 第12回 副腎腫瘍
- 第13回 口腔悪性黒色種
- 第14回 泌尿器腫瘍
- 第15回 頭頸部扁平上皮癌
- 第16回 形質細胞腫瘍

第10回 がん学会収支予想

収入

参加費	事前	正 @ 10,000 円	380 人	3,800,000	
		準 @ 6,000 円	2 人	12,000	
		非 @ 13,000 円	21 人	273,000	
		事前小計		4,085,000	
	当日	正 @ 13,000 円	80 人	1,040,000	
		準 @ 9,000 円	2 人	18,000	
		非 @ 16,000 円	16 人	256,000	
		当日小計		1,314,000	
	参加費小計				5,399,000
	要旨		8 冊	24,000	
展示協賛費		11 社	2,000,000		
要旨広告代		3 社	150,000		
その他			0		
収入合計・・・①				7,573,000	

昨年度比

+1795500(+31%)

支出

会場代(備品含)	大阪ニューオータニ	5,616,555
人件費	講師謝礼	1,800,000
	アルバイト代	3,600,000
荷造運送費	要旨発送費☆	100,000
	案内ハガキ☆	60,000
	領収書・御礼状発送	20,000
制作費	要旨集	1,625,000
	案内ハガキ☆	50,000
飲食費	屋食代(お弁当、茶)	300,000
	接待、ミーティング等	10,000
消耗品	電池等	10,000
交通費	交通費	50,000
会場探し設営		500,000
支出合計・・・②		13,741,555

収支合計(①-②)

-6,168,555

第6回 がん学会収支報告

収入

参加費	事前	正 @ 10,000 円	347 人	3,470,000	
		準 @ 6,000 円	2 人	12,000	
		非 @ 13,000 円	21 人	273,000	
		事前小計		3,755,000	
	当日	正 @ 13,000 円	53 人	689,000	
		準 @ 9,000 円	2 人	18,000	
		非 @ 16,000 円	16 人	256,000	
		当日小計		963,000	
	参加費小計				4,718,000
	要旨		8 冊	24,000	
展示協賛費		11 社	940,000		
要旨広告代		3 社	79,000		
その他			16,500		
収入合計・・・①				5,777,500	

支出

会場代(備品含)	大阪アカデミア	2,092,990
人件費	講師謝礼	1,751,101
	アルバイト代	754,440
荷造運送費	要旨発送費☆	96,915
	案内ハガキ☆	50,303
	領収書・御礼状発送	16,880
制作費	要旨集	1,686,300
	案内ハガキ☆	43,197
飲食費	屋食代(お弁当、茶)	194,550
	接待、ミーティング等	2,888
消耗品	電池等	6,783
交通費	交通費	38,730
その他	コピー <small>(麻布大学から夏冬で請求がきた)</small>	115,850
支出合計・・・②		6,850,927

収支合計(①-②)

-1,073,427

第11回学会会場候補

東京駅から徒歩5分、会場費およそ500万（現在見積もり依頼中）
キャパシティ十分、会場全体予約可能、展示スペースも確保
今後3年間予約可能

Tokyo Convention Hall 東京コンベンションホール
お問い合わせ: info@tokyoconventionhall.jp | 03-5542-1995

ホーム | 施設案内 | ご利用案内 | 利用シーン | アクセス | 運営サポート | お問い合わせ | English

東京駅徒歩5分・銀座一丁目駅徒歩2分・京橋駅直結・有楽町駅徒歩6分・宝町駅徒歩2分

抜群の交通利便性

京橋で駅直結のダイレクトアクセス、銀座に近接。そして東京駅へ徒歩5分。

学術会議や株主総会、講演会、パーティ等にご利用いただける多目的ホールです。

ワンストップサービス

資料制作、ケーキリング、装飾、音響機材、質疑応答などの各種準備や運営に関する相談など、お気軽にお問合せください。

アクセス

東京八重洲南口に『東京コンベンションホール』が誕生！

学術会議や株主総会、講演会など、さまざまな会議や発表会、展示会、パーティ等、多種多様にご利用いただける多目的ホールです。1フロア2,300m²の広大な空間が、お客様の幅広いニーズにお応えします。

●使い方の一例

- 学術会議・講演会・セミナー・シンポジウム など
- 株主総会・プレス発表会 など
- 見本市・展示会 など
- 記念パーティ など

東京コンベンションホール 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目1-1 東京スクエアガーデン5F TEL: 03-5542-1995 FAX: 03-5542-1994

全体レイアウト



全会場リスト

※仕様により変更となることがございます

会議室	面積	全日利用料 (9:00~21:00)	天井高	配置	席数※
大ホール (2分割可)	477m ²	1,150,000円	8.0m	シアター	500
				スクール	273
大ホールA	244m ²	600,000円	8.0m	シアター	228
				スクール	120
大ホールB	220m ²	550,000円	8.0m	シアター	228
				スクール	120
小ホール	106m ²	250,000円	4.3m	シアター	108
				スクール	63
中会議室I・II (3分割可)	212m ²	400,000円	3.5m	シアター	210
				スクール	108
中会議室I-A 中会議室II-A	60m ²	120,000円	3.5m	シアター	54
				スクール	36
中会議室I-B 中会議室II-B	78m ²	150,000円	3.5m	シアター	80
				スクール	54
中会議室I-C 中会議室II-C	74m ²	150,000円	3.5m	シアター	80
				スクール	36
小会議室A・C	36m ²	70,000円	3.5m	口の字	18
小会議室B	33m ²	65,000円	3.5m	口の字	18
ホワイエI	110m ²	140,000円	8.0m		
ホワイエII	66m ²	80,000円	8.0m		

2013～2017 年度のタイムスケジュール

- 2013.4/1
- 2013.7/6.7 : 第 9 回学会
- 2014.1/26.26 : 第 1 0 回学会 2014 年度予算案承認
- 2014.7/5.6 : 第 1 1 回学会
- 2015.1/24.25 : 第 1 2 回学会 2015 年度予算案承認
- 2015.7/4.5 : 第 1 3 回学会 次期会長選挙詳細承認
- 2015.10 月中 : 次期会長選挙実施
- 2016.1/30.31 : 第 1 4 回学会 2016 年度予算案承認
次期会長承認、次期評議員選挙
次期理事選挙詳細承認
- 2016.3 月中 : 次期評議員選挙実施
- 2016.5 月中 : 次期理事選挙実施
- 2016.7/2.3 : 第 1 5 回学会、次期執行部・理事・評議員承認
- 2017.1/28.29 : 第 1 6 回学会
2017 年度予算案承認 (次期執行部)
次期執行部任期内の学会メインテーマ承認 (次期執行部)
第 1 7 回以降の学会の承認 (次期執行部)
- 2017.3/31 : 現執行部任期満了
- 2017.4/1 : 次期執行部発足
- (仮) 2017.7/1.2 : 第 1 7 回学会

現執行部発足より半年早いスケジュールとなっている。

	2013年度日本獣医がん学会予算案		2012年度日本獣医がん学会予算案		
	金額 (円)	備 考	金額 (円)	明細金額 (円)	備 考
収入合計	40,000,000	会員数等の根拠から予測 (会員総数2068名：賛助含む)	37,000,000		
前年度繰り越し金予測	57,547,021		45,202,610		
総 計	97,547,021	(a)	82,202,610		(a)
支出の部					
会誌発行費	2,500,000		2,500,000		
第9・10回学会	22,000,000	10000000円増 (全支出中5%)	23,000,000		(2011年度 13000000 全支出中33%)
認定委員会	3,000,000		3,000,000		
Joncol作成費	5,700,000		5,500,000		
印刷物制作費	680,000	会員お知らせ・名刺等	650,000		会員お知らせ・名刺等
事務委託費	4,000,000		3,300,000		
オーナー向けHP制作費	1,500,000		1,500,000		
会員管理システム維持費用	250,000		250,000		
消耗品費	840,000		800,000		
手数料	470,000		450,000		
通信費	420,000	電話・サーバー、メール同報代等	250,000		電話・サーバー代等
荷造送料	730,000		700,000		
旅費交通費	300,000		300,000		
会議費	200,000		200,000		
備品費	600,000	PC等	600,000		PC等
JFVSS	300,000				
その他	730,000	HP管理・印刷等	700,000		HP管理・印刷等
支出合計	44,220,000	(b)	43,700,000		(b)
次年度繰り越し金	53,327,021	(a)-(b)	38,502,610		(a)-(b)